

あなたと議会を結ぶ

No. 176

2015年11月1日発行

りっとう議会だより

発行/栗東市議会 編集/議会広報編集特別委員会 〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号
TEL 077-551-0137 FAX 077-551-0146 メールアドレス/ gikai@city.ritto.lg.jp



▲大宝東小学校運動会



平成27年9月定例会は、市長から提案された25議案（人事1件、条例4件、予算6件、決算11件、その他3件）と請願書について審議しました。

委員会報告 3

各常任委員会が議案を審査

個人質問 5

議員がそれぞれのテーマについて聞きました

議会報告会 10

議会報告会を開催します



9月定例会

採決結果の後に、「別表」とある議案の採決結果については、3ページの表をご覧ください。「全」とある議案は全員一致で可決されましたので表への記載は省略しています。

人事

教育委員会委員に、林 史代 氏

任期満了に伴い、林史代氏を任命することについて、議会の同意を求められました。

(同意)

条例

一部改正

個人情報保護条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行により、保有特定個人情報の利用の制限、及び開示・訂正・利用停止の手続、情報提供等記録の開示・訂正の手続を定めるものです。

(可決・別表)

非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び消防団員等公務災害補償条例

被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律により、地方公務員等共済組合法等が改正され、共済年金が厚生年金に一元化されたことに伴い、所要の改正をするものです。

(可決・全)

手数料徴収条例等

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う通知カードの再交付手数料を1件につき500円、個人番号カードの再交付手数料を1件につき800円とする等、所要の改正をするものです。

(可決・別表)

地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

地区計画区域内における建築物の用途、構造及び敷地に関する制限を定めるものです。

(可決・全)

その他

市道 2路線廃止 3路線認定

既設道路延伸整備事業に伴う一部市道廃止による再認定のため大橋墓地線1路線を廃止。開発による道路の寄附・帰属のため中沢カジヤ前線を、既設道路延伸整備事業に伴う一部市道廃止による再認定のため大橋墓地線1路線を認定するものです。

(可決・全)

おうみ自治体クラウド協議会規約を定めることを関係普通地方公共団体が協議することにつき議会の議決を求めることについて

基幹系システムの共同利用を進めるため、草津市、守山市、野洲市、湖南市及び栗東市で構成するおうみ自治体クラウド協議会を設置することについて議会の議決を求めるものです。

(可決・別表)

請願書

中学校卒業までの入院費窓口負担についての請願

請願者：栗東の医療を良くする会

代表 石黒 やよい 氏

請願の内容

中学校卒業までの入院費について、窓口の支払いをなくすよう請願するものです。

(不採択・別表)

国に対し「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書

請願者：草津甲賀民主商工会婦人部

部長 木下 智津子 氏

請願の内容

所得税法第56条の廃止を求める意見書を政府に提出するよう請願するものです。

(不採択・別表)

平成26年度 一般会計・特別会計決算

(単位：円)

会計名	決算額	結果
一般会計	22,371,433,387	認定・別表
土地取得特別会計	196,312,999	認定・全
国民健康保険特別会計	5,199,274,027	認定・別表
後期高齢者医療特別会計	491,725,613	認定・別表
介護保険特別会計	2,865,243,408	認定・別表
墓地公園特別会計	4,571,215	認定・全
大津湖南都市計画事業栗東駅前土地区画整理事業特別会計	64,250,990	認定・全
大津湖南都市計画事業栗東新都心土地区画整理事業特別会計	83,245,167	認定・全
水道事業会計	1,737,997,321	可決、認定・全
公共下水道事業会計	3,239,558,725	可決、認定・全
農業集落排水事業特別会計	30,505,537	認定・全

平成27年度 一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計	1億6,251万8千円 (増額)	234億1,286万2千円	総務費・民生費等の増額	可決・全
土地取得特別会計	340万円 (増額)	6億6,742万1千円	道路新設改良費の増額	可決・全
国民健康保険特別会計	4,336万5千円 (増額)	61億 957万5千円	償還金及び還付加算金の増額	可決・全
後期高齢者医療特別会計	11万8千円 (増額)	5億1,544万1千円	償還金及び還付金の増額	可決・全
介護保険特別会計	592万1千円 (増額)	31億7,421万2千円	高額医療合算介護サービス等費の増額	可決・全
公共下水道事業会計	2,004万円 (増額)	33億1,318万5千円	建設改良費の増額	可決・全



賛否が分かれた案件の採決結果一覧

多=賛成多数 少=賛成少数 ○…賛成 ●…反対 欠…欠席

件名	議員名	採決結果	新 政 会							公 明		再 生		ネ ッ ト ワ ー ク			共 産 党		
			寺田 範雄	三浦 悟	上田 忠博	片岡 勝哉	武村 賞	谷口 茂之	田中 英樹	三木 敏嗣	小竹 庸介	野々村 照美	國松 篤	櫻井 浩司	田村 隆光	林 好男	中村 昌司	大西 時子	伊吹 みちえ
議 案																			
個人情報保護条例の一部改正		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手数料徴収条例等の一部改正		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
おうみ自治体クラウド協議会規約を定めることを関係普通地方公共団体が協議することにつき議会の議決を求めることについて		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度	一般会計歳入歳出決算認定	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計歳入歳出決算認定	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願 書																			
中学校卒業までの入院費窓口負担についての請願		少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	欠	●	●	●	●	
国に対し「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書		少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	●	●	○	○	

*議長(藤田啓仁議員)は採決に加わらない

*会派名の正式名称は次のとおり

公明→公明栗東 再生→栗東再生市民派クラブ ネットワーク→栗東市民ネットワーク 共産党→日本共産党議員団

★本会議の様子を視聴できます★



栗東市議会ホームページで
<http://www.kensakusystem.jp/ritto-vod/index.html>

本会議録画映像

栗東市議会 インターネット中継

委員会報告

総務常任委員会

平成26年度一般会計

歳入歳出決算認定等を審査

当委員会は、付託された議案8件、請願書1件について審査しました。

個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について、委員から、企業・法人における税の分野でのマイナンバーの取り扱い方法、規制や罰則は、との質疑に対し、当局から、法の規定により収集事務を進め、特定個人情報については、厳重な取り扱いを法は求めている、との答弁がありました。

手数料徴収条例等の一部を改正する等の条例の制定について、委員から、コンビニでの住民票の写し、印鑑登録証明書の取得が利用できるが、トラブルを想定しておく必要があると思うが、との質疑に対し、当局から、コンビニ交付は土・日・祝日も対応し、6:30～23:00となっている。

トラブル等は国の証明書交付センターと契約され、双方協議のうえ対応する、との答弁がありました。



▲個人番号カード(表面)

平成26年度一般会計歳入歳出決算認定について、委員から、SNS*・メディア等で発信情報の周知方策は、との質疑に対し、当局より、Facebook・YouTubeを活用している、今後もSNSを活用した情報発信に努める、との答弁がありました。

当委員会に付託された8議案について、その他多くの質疑の後、採決の結果、原案のとおり可決・認定すべきものと決しました。

また、国に対し「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書について、社会変化の観点から、同規定の見直しを検討することも必要であるが、慎重な検討が必要であり、ただちに廃止すべきとの考えには同意できない、等の意見があり、採決の結果、不採択すべきものと決しました。

*SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略)

Facebook(フェイスブック)やYouTube(ユーチューブ)など、人と人とのつながりを促進・サポートするコミュニティ型のウェブサイトのこと。

環境建設常任委員会

平成26年度一般会計
歳入歳出決算認定等について審査

当委員会は、付託された議案12件について審査しました。

平成26年度一般会計歳入歳出決算認定について、委員から①最終処分場管理事業について、岡最終処分場の使用期間の延長に関する協議の状況は。②人・農地プラン推進事業について、課題として農業従事者の担い手づくりを掲げているが、担い手を育成する方法について、市はどのように考えているのか。③工場誘致事業について、工場立地協定を新たに締結した「2社」とは、との質疑に対し、当局から①地元自治会長と協議しており、自治会に対しては、11月に開かれる役員会で説明する。②補助制度がなくなるなど、農業の個人経営は厳しく、農地の中間管理事業による集積や集落営農の法人化等、経営の単位を大きくすることが求められる。市としても、各地域及び農業者と関わる中で、担い手育成を図りたい。③(株)手原産業倉庫と(株)イシダである、との答弁がありました。

当委員会に付託された12議案について、その他多くの質疑の後、一部反対・賛成討論もありましたが、採決の結果、原案のとおり可決・認定すべきものと決しました。



文教福祉常任委員会

平成26年度一般会計
歳入歳出決算認定等について

当委員会は、付託された議案8件、請願書1件について審査しました。

平成26年度一般会計歳入歳出決算認定について、委員から①学校給食共同調理場建て替えに向けた現在の進捗状況と、建設候補地を選定した経緯は。②地権者等、地元への対応は、との質疑に対し、当局から①「学校給食共同調理場建設基本構想・基本計画」の候補地条件に基づき、工業地域あるいは準工業地域内であること、給食を作ってから食べ終わるまでの時間配送にかかる時間、敷地面積など、総合的に判断した結果、高野の今土地先にある市所有の土地を活用しての候補地決定となった。②説明を丁寧に行い、地元で理解を求め用地の確保を行い、年度内に土地の関係が固められたらと考えている、との答弁がありました。



平成26年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、委員から、生活援助員設置事業について、自治会や民生委員との共有は、との質疑に対し、当局から、手原団地・下戸山団地に相談窓口として設けており民生委員や自治会との連携をより一層深めていく必要がある、との答弁がありました。

当委員会に付託された8議案について、その他多くの質疑の後、一部反対討論もありましたが、採決の結果、原案のとおり可決・認定すべきものと決しました。

また、中学校卒業までの入院費窓口負担についての請願について、利用者の負担等については理解するが、時期として適切なのかという懸念がある、との反対討論があり、採決の結果、不採択すべきものと決しました。

個人質問

9月10日・11日の2日間、12人が質問しました。
質問と答弁の要旨をお知らせいたします。なお、詳細内容は後日、市のホームページ等に掲載します。



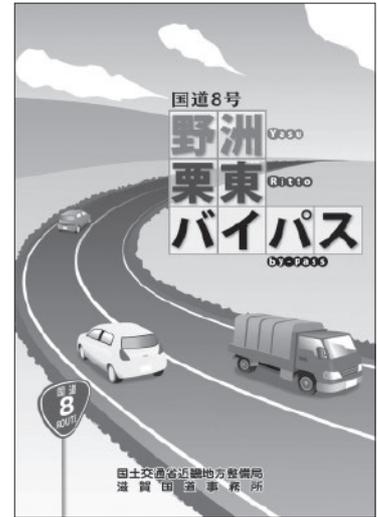
進み出した国道8号 野洲栗東バイパスについて 國松 篤 議員

問 国道8号野洲栗東バイパスの早期完成を求める整備促進期成同盟会が、平成22年度に開通すると決議されましたが、その実現に向けた流れは。

答 事業者である滋賀国道事務所から具体的な事業の提示はない。供用目標に対して、どこまで応えられるのか。具体的に検討をしていくという回答をいただいている。現時点では、我々の要望に対する具体的な回答はないが、内部で検討している。

問 促進期成同盟会の決議を、滋賀国道事務所がどのように受け取っておられるのか。

答 促進期成同盟会の思いは受け止めていただいている。まず県道片岡栗東線の4車線化事業と併せて8号バイパス供用に努力していきたい。これから葉山学区、また関係地権者皆様方に、しっかり個別にお願いし、説明会もしていく。



マイナンバー制度について 櫻井 浩司 議員

問 10月から施行されるマイナンバー制度の周知の方法は。

答 広報りっとうにて10月号より毎月お知らせする。不明な点は、コールセンターを設置して対応する。また、出前講座を設けて、申し入れのあった自治会等各種団体に説明に行く。



▲社会保障・税番号制度
広報用ロゴマーク
(愛称:マイナちゃん)

問 市民の皆さんが最も心配しているセキュリティについては。

答 個人情報保護措置については、一つのデータベースで管理するのではなく、各行政機関で分散管理する。さらに情報セキュリティ対策に万全を期し、個人情報の適正管理等における様々なリスクに必要な対策を講じる。

空き家対策について

問 空き家対策特別措置法が施行されたことにより、空き家が強制撤去となるという誤解が生じているが。

答 所有者の責任が第一であることを明確化したうえで、空き家バンクの設置などを視野に入れ、必要に応じて市民への周知を考えている。



全国学力テストについて問う 三木 敏嗣 議員

問 我が市の全国学力テストの結果はどうであったか。

答 小学校は、算数A以外は滋賀県値を上回り、国語Bは全国値を上回った。中学校は全ての教科で滋賀県値を下回ったが、その差はわずかであった。



問 結果をどのように分析されているのか。

答 詳細分析は現在進めている。近年の正答率は向上傾向が見られ、B問題は小中学校ともに向上している。

問 学力向上と理解を深めるための方策等は。

答 「授業のクリエイト」として独自に「本時のめあてを明示する」「言語活動を取り入れる」「授業のふり返しを行う」がある。また、定期テストでは、記述式で回答する設問を増やすなど、理解を深める学習を進めたい。

問 教員の感化力の向上のために何が必要か。

答 教員の力量を高めるため、研修をさらに充実させるとともに、児童生徒の実態に即して丁寧な学習指導に当たれるよう努力を続けることが重要である。

個人質問



今こそ中小企業振興基本 条例を基に商工業の振興を 谷口 茂之 議員

問 条例にある中小企業の実態把握をしているのか。

答 市の中小企業経営実態調査や商工会の会員事業所アンケート調査などにより実態把握に努めている。

問 重要な組織である中小企業振興会議の検討内容をどう施策に反映するのか。

答 具体化するための手順書となる「栗東市商工振興ビジョンロードマップ」の策定を進めていきたい。

国道1号バイパス事業に伴う 諸課題解決に向けて

問 県道上砥山上鉤線まで（1期区間）の安全対策は。

答 国、県、市等で構成する対策会議で検討している。関係機関に要望するとともに当9月定例会に安全対策工事などの費用について補正予算のお願いをしている。

問 抜本的な通過交通対策には、県道川辺御園線（2期区間0.9km）までと山手幹線の早期全線同時供用することが必要と考えるが進捗状況は。

答 2期区間は関係者への説明会を予定。山手幹線では、本年度より事業用地買収に着手する計画である。



市職員の比率と 保育民営化について 片岡 勝哉 議員

問 541名の職員定数に対し、449名の体制で業務を執行されている。類似団体と比較し、専門職・保育士・幼稚園教諭の比率は。

答 県内類似団体と比較し、保健師・保育士・幼稚園教諭が10%多い。

問 職員全体の総数が決まっている以上、しわ寄せを行政職が受けているのではないか。

答 行政職にしわ寄せがきているとは考えていない。

問 職員全体の約75%である行政職の時間外手当の比率が約88%とは、ある程度しわ寄せがあると考え。保育の民営化、民間活力活用は止めてはならないと考えるが。

答 民営化第二候補群も代替機能を法人立保育園に求めたうえで、移行するという手法を模索している。

問 保育園の民営化は方針・計画もある。財政的な効果があり保育の充実に充てられる。推進すべきでは。

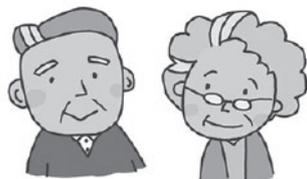
答 民営化について、今後も取り組む姿勢が必要であると考え。



介護支援ボランティア ポイント制度の導入について 野々村 照美 議員

問 高齢化が急速に進展する中、元気な高齢者のボランティア活動を通しての社会参加促進を展開するうえで、ポイント制度の導入についての考えを問う。

答 現在、検討しているポイント制度については65歳以上の方には還元をさせていただくが、他の状況も踏まえた中で、対象をどのようにするかは検討課題である。



問 実施時期はいつ頃を目指しているのか。

答 平成28年度には十分に内容を詰め、それを踏まえ実施に向けて取り組んでいきたい。

立腰（りつよう）の取り組みについて

問 腰を立てることで正しい姿勢を保ち、健康の保持増進を図り、忍耐力、学習意欲を高めている学校があるが、本市の正しい姿勢の取り組みを問う。

答 学習規律を高め、児童生徒の健康保持のため、正しい姿勢で授業に臨むよう指導している。小学校1年生の国語科や書写の教科書にも記載されており、各小学校で入学間もない児童に指導している。



個人質問



「中央公民館」並びに 「住民憩いの家」について問う

上田 忠博 議員

問 「中央公民館」と「住民憩いの家」の解体について、その概要・行程期間、跡地利用を問う。

答 除却債を活用し、平成28年度中の実施を予定している。中央公民館の跡地は、バス停留所機能を残しつつ駐車場を予定している。住民憩いの家は、現在検討中である。



「第七次行政改革大綱」 その取り組みと方向性を問う

問 「第七次行政改革大綱」について、「公共領域の再構築」とあるがその概要を問う。

答 「新しい公共の構築」を目標に「重点事項」ごとに「詳細項目」を整理し、「推進計画」を年次的に取り組み、特に優先的なものを「早期改革項目」と位置づけている。

問 「プラス創造型改革」に取り組んで行くが、その概要・方向性を問う。

答 「新しい公共を目指す創造」、「地域資源の有効活用による創造」、「企業や大学等との連携交流等による新たな価値観の創造」を旨とした改革で、目指すべきまちづくりをより明確にしつつ、市民の豊かな暮らしに寄与する改革に取り組む。



「全国学力・学習状況調査」 結果を受けて

小竹 庸介 議員

問 本市の学力・学習状況調査結果と、独自の学力向上プランの策定について問う。

答 小学生においては、算数Aを除く、全ての科目で県値を上回り、特に国語Bは、全国平均を上回った。独自プランはないが、①くりちゃん検定による基礎学力の定着②「授業改革」などの目標設定に対する評価・検証の確立③学習状況調査や生活習慣アンケートを基にした日常指導④学力向上担当者会議の開催等で取り組みを進めている。



「栗東市バリアフリー基本構想」 について

問 短期・中期・長期別に事業内容及び取り組みについて問う。

答 短期では、平成30年度を目標にJR栗東駅の各上下線のホームへのエレベーターの設置、中期では、平成32年度を目標に歩道の平坦性の確保・点字ブロックの設置・駅案内板の改善、トイレへの音声誘導や周辺施設への案内等の充実を更に図っていく。長期では、駅舎からバス停までの上屋の設置、歩道の新設、駅舎の更新に合わせて計画する施設の改善等を位置付けている。



コミュニティバスの 運行について

田中 英樹 議員

問 公共交通空白地域となっている自治会はあるか。今後、その地域への路線の拡大が必要と思われるが考えを問う。

答 公共交通の路線から離れた地域として、出庭・中・清水ヶ丘・辻の4自治会があると考えられる。平成28年10月運行を目標に、守山市と連携し、宅屋線の延長として取り組む。

問 バスの利便性を考慮した停留所の増設や、小型コミュニティバス導入についての考えを問う。

答 より良い運行の為に、今後の見直しによって利用者増に繋がっていけば良いと考える。

問 コミュニティバス全体を通して、今後のあり方についての考えを問う。

答 市民の移動手段として必要なものであると考えている。電車や民間バスとの乗り継ぎについても検討し、最大限有効に使っていただける環境を目指していく。



個人質問



重度障がい児者通所施設 整備事業について 伊吹 みちえ 議員

問 特定事業プランの中で、重度障がい児者の利用者数が増加している。栗東市としても新しく事業所を作ると伺ったが現在の状況は。また、平成31年度に至るまでに守山市にある通所事業所「たいよう」において、特別支援学校から卒業される方の人数は何人増えるのか。

答 事業所開設に向けての現在の状況については、湖南4市の中で協議を行っており、平成31年度開所に向け今年度建設場所を決定するように進めている。また、通所事業所「たいよう」では平成31年度当初に27名増えると予想している。

問 事業所開所について建設地、入所者数、建設にかかる費用は。

答 広域4市の取り組みとしては、草津市または栗東市で施設整備に向けて検討している。入所者数については現在の「たいよう」と同程度の45名規模を想定し、建設にかかる事業費は、費用負担のあり方などを4市で調整、本市の持ち分は概算6,000万円を予定している。



マイナンバー制度について 大西 時子 議員

問 10月中旬から、「番号通知カード」を書留で送付されることになるが、市の対応は。

答 送付については、順次全世帯に発送され、概ね11月中には届ける見込み。マイナンバーの対応として、臨時職員3名を新たに採用、職員とともに窓口対応や返戻処理に当たる。電話での問い合わせには、専用のコールセンターを設置し対応する。



問 不正利用や情報漏えいの危機管理の対応は。

答 「特定個人情報の適正な取り扱いに関するガイドライン」の周知並びに全職員を対象とした集合研修、全部署において職場研修に取り組んでいる。

障がい者の自立と社会参加について

問 行動援護サービスについて伺う。

答 この事業の指定は県の管轄で、本市が事業所の開設の計画を進めることはできないが、事業所が開設を予定され、協議を必要とされる時に、行動援護サービスの必要性を県に意見提出する。



安全確保・リスク管理への 対応について 中村 昌司 議員

問 公務中において人身事故を起こした場合、自治体に対しては他のリスク管理よりも大きな問題として取り上げられ、市民からの批判をうけ、信頼を喪失することになる。本市では、公用車の車両管理をどのように行い、適切な運行管理、安全運転管理をされているのか伺う。

答 車両管理は、所有車・リース車ともに保守管理委託により定期点検の実施や修繕などを随時行い、公務に支障なく利用できるよう管理している。運行管理については、公用車運転日誌により、行き先、用務、使用時間等の報告を義務付けており、安全運転

管理については、公用車安全運転研修等により周知を行っている。

問 交通事故が発生した場合、本市では何らかの規定や措置に対する取り決めにより、どのような対応をされているのか伺う。

答 交通事故等が発生した場合の対応については、本市「公用車管理及び安全運転に関する規程」に基づき、当事者には「交通事故報告書」の提出を求め、その内容に応じて、一定期間、公用車の運転を禁止している。



第4回子ども議会を開催します

将来の栗東市を担う子どもたちが、自分のまちの姿をよく見つめ、市に対する自分の夢や希望を話してもらうことにより、子どもの市政への関心と、まちづくりに進んで参画しようとする意欲を高めることを目的として、子ども議会を開催します。

ぜひ、傍聴にお越し下さい。

日時 平成27年11月29日(日) 13:15～
場所 栗東市役所4階 議場



▲第3回子ども議会のようす

平成27年度栗東市防災総合訓練に参加

去る8月29日に栗東市防災会議主催による「平成27年度栗東市防災総合訓練」が実施されました。この訓練は、具体的な備えを整えるために、自主防災組織として災害への対応行動を体得する「訓練」と判断を養う「演習」を同時に実施し、災害対応能力の向上を図るとともに、住民と地域団体及び防災関係機関が一体となって有機的な連携のもとに、被害を最小限度に防止し、住民の生命と財産を災害から守る学習体験型訓練を実施することを目的に葉山小学校を中心に葉山学区で開催されました。また今年度より、全議員が訓練に参加しました。

体験学習訓練では、DIG訓練(災害時の対応策を考える図上訓練)・HUG訓練(避難所運営の図上訓練)・家具転倒防止講習・災害時応急技術講習等に分かれ、防災技術の向上や防災知識の普及を図りました。



▲HUG訓練(避難所運営の図上訓練)のようす

栗東市路上喫煙の防止に関する 条例の施行から3年

平成27年10月1日で同条例の施行から3年が経ち、条例の啓発と、生活環境の改善のため、早朝よりJR手原駅、栗東駅で街頭啓発と環境美化活動を行いました。

この条例は、平成24年度に、健康への影響の抑制やたばこの吸い殻の投棄の防止を図り、健康な生活の確保やまちの美観保全に寄与することを目的として、議員提案し可決・制定しました。



栗東市議会

議会報告会

を開催します。

日 時	場 所
11月21日(土)	13:30～ コミュニティセンター金勝
	19:30～ コミュニティセンター治田東
11月22日(日)	13:30～ コミュニティセンター葉山
	19:30～ コミュニティセンター大宝東

どの会場にもご参加いただけます。
いずれも、同じ内容で約1時間半程度を予定しています。



▲昨年の議会報告会のようす

第一部 議会報告

9月定例会で審議した主な議案などを報告します。

総務常任委員会

所管事項：政策推進部、総務部、市民部など

環境建設常任委員会

所管事項：環境経済部、建設部など

文教福祉常任委員会

所管事項：健康福祉部、教育委員会など

第二部 意見交換

議会活動や市政に関して、テーマを設け意見交換をさせていただきます。

テーマ「防災について」など

参加方法

- 事前申込みは要りません。直接会場へお越しください。
- 手話通訳者の配置をご希望の方は、11月11日(水)までに議会事務局へ連絡をお願いします。

問合せ／議会事務局(市役所4階)

TEL 551-0137 FAX 551-0146 E-mail: gikai@city.ritto.lg.jp

【議会報告会での意見等の取り扱い】

○ 議会報告会

○ 班別反省会

○ 議長へ報告書提出

○ 市政に関する意見把握
検討・整理

○ 意見等の公表

- ・ 市議会だより掲載
- ・ 市議会ホームページ掲載

傍聴 にお越しく下さい

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。

開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。

日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承下さい。

● 12月定例会の予定 ●

12月2日	本会議(議案上程等)
9日～11日	本会議(個人質問)
14日～16日	各常任委員会
21日	本会議(委員長報告・採決)

(土・日除く)

編集後記

26日間にわたる9月定例会が終わりました。個人質問者は12名が登壇し、いろんな分野からの活発な議論が繰り広げられました。今回の定例会は、「決算議会」とも称し、平成26年度の決算を主に3つの常任委員会で所管ごとに審査して、適正に執行出来ているか否か等を当局と議員が多く議論を展開してまいりました。傍聴も可能ですので、一度おいで下さい。

個人質問での顔写真の掲示は、今期も来年の2月号から似顔絵で載せる予定です。この似顔絵制作は、栗東高校美術科の生徒さんのご厚意で出来るもので、感謝・感謝です。どんな物が出来るか、今から興味津々で楽しみです。

議会広報編集特別委員会

- (委員長) 片岡 勝哉 (副委員長) 國松 篤
(委員) 林 好男 寺田 範雄 伊吹みちえ
野々村照美 三木 敏嗣